

三溪園の新しいお土産品のお披露目会を開催します！

横浜の日本文化を感じられるお土産品として新たに開発した三溪園ならではの商品のお披露目会を、三溪園にて開催します。



観光需要の大きい横浜都心臨海部に立地する三溪園において、魅力ある「和」を体験した上で、その体験を友人や家族等に伝えたいとお土産品を地元や自国に持ち帰っていただくことにより、横浜の魅力を広く発信することを目的として開発しました。

お披露目会では、新しいお土産品を実際に手に取り御覧いただけるとともに、スタッフが御説明します。メディアの皆様にも是非、御取材いただきたいと考えていますので、この機会に是非、御来園ください。

1 開催日時

令和元年12月5日(木) 午前10時～午後2時
※お披露目会開催時間内は、スタッフが常駐していますので、御都合の良い時間帯に御来場ください。

2 開催場所

三溪園（中区本牧三之谷58-1）
三溪記念館内 茶席・望塔亭の奥

3 新開発商品一覧

※裏面を御覧ください。

4 販売開始

12月5日から、三溪園内「三溪記念館ミュージアムショップ」で販売開始します。その後、順次「横濱001ショップ」等においても販売開始します。年末の帰省土産等には是非、御利用ください。

5 メディア関係者の受付等

メディア関係者の方は、三溪園正門の受付棟でIDを御提示いただき「お土産お披露目会」の取材とお申し付けください（入園料無料）。会場（三溪記念館）を御案内します。

また、三溪園に関する資料等を御提供します。



三溪園案内図



RWC2019 期間中に実施した
テストマーケティングの様子

(裏面あり)

	<p>商品名：三溪園^{かもん}花文あわせ 製造者：香炉庵 名称：焼菓子（四弁花文焼印 薄皮どら） 価格：1,080円（5枚入り） 日持ち：製造日より60日 内外装：個包、箱、掛け紙（三溪園仕様）</p>	 <p>原三溪が好んで使用した 「四弁花文」を焼き印</p>
	<p>商品名：横浜ハーバーダブルマロン 三溪園 製造者：(株)ありあけ 名称：焼菓子（マロンケーキ） 価格：891円（5個入） 日持ち：製造日より60日 内外装：個包（通常品同）、オリジナルデザインパッケージ パッケージ裏面に三溪園案内（園内マップ付き）</p>	
	<p>商品名：神奈川沖浪裏クッキー 製造者：(株)三陽物産 名称：焼菓子（波型クッキー） 価格：800円（4枚入り） 日持ち：製造日より90日 内外装：個包、オリジナルデザインパッケージ</p>	
	<p>商品名：横浜ビール 三溪園 ※横浜の水源地「山梨県道志村」の清涼な湧水を仕込水に使用 製造者：(株)横浜ビール 名称：エールビール 価格：550円（330ml） ※三溪園内の茶店等での飲食価格は700円 日持ち：製造日より180日 内外装：三溪園オリジナルラベル</p>	
	<p>商品名：マグネット 三溪園の四季 製造者：(株)エクスポート 名称：マグネット 価格：660円（1枚） 外装：台紙（黒）にセロファン</p>	
	<p>商品名：神奈川沖浪裏タンブラー 製造者：(株)三陽物産 名称：タンブラー 価格：1,980円 外装：セロファン+紙箱入</p>	
	<p>商品名：野点セット（桐箱入り） 製造者：(株)横浜園 名称：野点セット一式（抹茶「浜の風50g」1缶、茶碗1個、 茶さじ1本、茶せん1本、懐紙1包） 価格：8,800円 日持ち：抹茶「浜の風」製造日より1年 外装：桐箱入り</p>	

	<p>商品名：野点セット（キタムラK2バック入り） 製造者：(株)横浜園 名 称：野点セット一式（抹茶「浜の風50g」1缶、茶碗1個、茶さじ1本、茶せん1本、懐紙1包） 価 格：13,200円 日持ち：抹茶「浜の風」製造日より1年 外 装：キタムラK2バック（青×緑）ミニトート入り</p>
	<p>商品名：染織（三溪園の四季） 製造者：山村染織工芸 名 称：染織工芸品（手ぬぐい、風呂敷、スカーフ、帯揚げ） 価 格：手ぬぐい（300×1000） 2,200円 風呂敷（900×900） 3,300円 スカーフ・帯揚げ（300×1900） 11,000円</p>
	<p>商品名：三溪園 Tシャツ 製造者：ループ 名 称：衣料品（Tシャツ） 価 格：2,200円 サイズ：S・M・L・LL カラー：白・黒・青</p>
	<p>商品名：三溪園 トートバック（三溪園ロゴ+シルエットデザイン入） 製造者：YOKOHAMAGOODS001 名 称：雑貨（トートバック） 価 格：1,100円 カラー：無漂白綿-ツイル生地、ナチュラルカラー</p>

※表示の価格は全て税込み価格です。

6 三溪園での同時期開催行事

「紅葉の古建築公開～ちようしゅうかく 聴秋閣・しゅんそうろ 春草蘆（重要文化財2棟）」

鮮やかなかえでの紅葉に彩られた楼閣建築・聴秋閣、黄色の銀杏の落ち葉で絨毯のように敷き詰められる茶室・春草蘆。対照的な色彩の風情をお楽しみいただけます。あわせて、聴秋閣奥の溪谷遊歩道も開放、三重塔を遠望する絶景も楽しめます。※写真はイメージです。現在の状況とは異なる場合があります。



三重塔



春草蘆



聴秋閣

お問合せ先

文化観光局観光MICE振興部観光振興課長

永井 由香

TEL:045-671-3940